

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年5月30日
事業者名:	株式会社ひろせ建築

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	高断熱・高気密住宅の設計を標準仕様とし、住宅における冷暖房エネルギーの削減を図っています。また、太陽光発電設備や蓄電池の導入を推進し、再生可能エネルギーの活用を支援。ZEH（ゼロエネルギーハウス）対応プランや長期優良住宅の提案を積極的に行い、ライフサイクル全体でのエネルギー消費量およびCO2排出量の削減に取り組んでいます。		⑪住み続けられるまちづくりを,⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに,⑬気候変動に具体的な対策を	2024年度では全件長期優良住宅としてきました。そして太陽光発電を搭載した住宅の施工件数も増加しています。高断熱・高気密仕様の住宅で温室効果ガス削減に寄与しています。	指標	G X 志向型住宅の新規導入
					目標	2030年度までに、GX志向型住宅を取り入れこれまで以上光熱費を使用しない住宅造りを目指します
社会	地域の歴史や文化を継承するため、空き家となった古民家の再生リフォームに力を入れています。現代の生活様式に合わせた快適性を確保しつつ、伝統的な意匠や構造を活かした改修を行うことで、地域資源の有効活用と景観維持に貢献。また、古民家再生を通じて地元の職人の技術継承にも寄与しています。		⑪住み続けられるまちづくりを,⑧働きがいも経済成長も,⑫つくる責任つかう責任	2024年度、古民家再生、リフォームを行いました。古民家再生協会事業者会員であり能登半島地震の復興ボランティア活動にも参加し現地の方々の相談を受け地域貢献を行いました。	指標	古民家再生リフォーム 地元職人の施工
					目標	2030年度までに年間古民家再生件数を5件目指していきます
経済	地元の職人・協力業者との連携を強化し、地域経済の循環に貢献する体制づくりを推進しています。材料の仕入れにおいても、できる限り地元建材業者を活用することで、輸送による環境負荷低減と地域企業の支援を両立。また、職人の技術継承や雇用の創出につながるよう、地域の若手人材への技能伝承の機会を設けています。こうした取り組みにより、持続可能な建設体制と地域経済の活性化を目指しています。		⑧働きがいも経済成長も,⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑪住み続けられるまちづくりを	2024年度は、主要案件の約8割において地元職人・業者と連携。建材の仕入れも10割以上を地元建材店で調達。若手大工の現場同行や職人との座学指導を通じて、技能伝承の機会設けました。	指標	地元協力業者との連携 地元建材使用 技能伝承の実施
					目標	2030年度までに、引き続き年間案件の9割以上を地元業者と連携し、建材調達の地域内比率を100%を維持します 技能継承の実施では参加を増やしていきます
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ SDGsに関する重点取組については、毎月の定例会議にて全従業員に共有しています。環境・社会・経済の三側面ごとに目標を設定し、それぞれに担当者を明確化。進捗状況を四半期ごとに確認し、改善点があれば次期施策に反映するPDCAサイクルを導入しています。特に環境分野では、省エネ住宅の提案件数や廃材分別率などを定期的に数値化し、社内全体での目標意識の浸透を図っています。また、新人研修でもSDGsに関する内容を盛り込み、全社的な理解と実践につなげています。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・会社案内パンフレット（紙媒体）にSDGsの重点目標と実績を明記 ・見学会・相談会でのパネル展示やチラシにて取り組み内容を掲示				